

六階

幻の窓

6 階の当初の計画では、壁面すべてに窓が開けられる予定であった。築城途中、おそらく構造を強化するために、設計が変更され、各壁の中央の窓のみが開けられた。

長壁神社

姫路城は、もともとそこに祀られていた神社を移して築城された。その撤去が城主の家族に呪いをもたらしたと信じられ、姫路城の城主は 17 世紀初頭に城の敷地内に神社を再建するよう命じた。第二次世界大戦後、再び、今度は天守閣の最上階に移された。

隠れ見どころ

埋木

木造梁の節は梁の全体的な強度を弱め、割れ目の原因となる。これを防ぐため、天守閣の木材の節を削り取り、サクラやケヤキのような固い木材で作られたさまざまな形の埋木が施されている。